



支援学校名	多治見市立根本小学校	担当教員名	高野先生	対象学年・人数	4年生131名
実施日	9月28日(金)		実施場所	大原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ 水生生物はどんな所にすんでいるか、どのように捕まえるのか、河の形状はどうなっているか、危険な箇所はどこか等を実際に自ら体験することで学んだ。			学習内容②：大原川の危険性について 川は急に深くなったり、水が増えたりする場合があります、危険であるため子供たちだけではなく、必ず大人同伴で遊ぶ必要があることを学んだ。		
					
学習内容③：大原川の生態を学ぶ 大原川で採取した水生生物を分類し、それぞれの特徴と、数を把握することにより、自分達の身近な川である大原川の生態系がどのようなものであるかを学んだ。			学習内容④：大原川の水質を知る 大原川に住んでいる水生生物の種類と、川から採取した水のpH、COD、透視度から大原川はきれいなのか、汚いのかを学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・ 透視度 12 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 8種 オイカワ、カワムツ、ヌマムツ、カワヨシノボリ、フナ類、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 上流側と下流側の2箇所に分かれて行ったため、子供たちを見落とすことがないように注意した。 ・ 昨年の台風による、川の増水の様子等の写真を見せながら、河川工事の必要性を子供たちに分かりやすいように説明した。 ・ 子供達は楽しそうに学習に取り組んでおり、川への親しみを持ってくれたと思われる。		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号（内線）	320	

支援学校名	多治見市立昭和小学校	担当教員名	加藤先生	対象学年・人数	3年生54名
実施日	5月29日(火)		実施場所	笠原川(土岐川合流点)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 笠原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：笠原川とのふれあい方を学ぶ 川で行動する際の注意点、タモの扱い方、魚を捕まえるコツなどを学習した。また河川内に魚道があったため、その役割等について学んだ。			学習内容②：笠原川とのふれあい方を学ぶ 笠原川に入り、どのような場所に魚がいるのか、水質はどうか、川の形はどうか、どのような場所が危険なのかを、実際に体験しながら学んだ。		
					
学習内容③：笠原川の河川環境を知る 生息していた水生生物の種類と、笠原川の水のpH、透視度、CODの結果の両方の観点から、笠原川がきれいなのかどうかを学んだ。			学習内容④：川の危険性について 普段安全そうに見える川でも、雨などの天候によって急に水が増えたりするため危険であることを、実際の洪水時の写真を見ながら学んだ。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ pH 7.5 ・ 透視度 11.5 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 14種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、カマツカ、メダカ、アブラハヤ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、オナガサナエ、ギンヤンマ、アメンボ、ヒル 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 橋げたの部分が掘れていて深く危険であったため、子供たちがそこに入らないように気を付けた。 ・ 自然環境を守ることも大切だが、同様に生命と財産を守る河川事業や砂防事業も重要であることを災害により被災した施設の写真を用いて訴えたが、子供たちにわかりやすい言葉で伝えるということに苦労した。 ・ 子供達に魚の捕まえ方等をアドバイスでき川に興味をもってもらえたと思われる。 		
備考	岐阜県自然工法管理士 1名参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号(内線)	320	

支援学校名	多治見市立南姫小学校	担当教員名	曾根先生	対象学年・人数	4年生43名
実施日	5月31日(火)		実施場所	姫川(安楽寺周辺)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 姫川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：姫川とのふれあい方を学ぶ 川に入る時の注意点、タモの扱い方や水生生物の捕まえ方等を事前の説明で学び。実際に川に入り自ら体験することで、川での楽しみ方を学んだ。			学習内容②：川の危険性について 雨が降ると急に川の水が増えて危険であること、工事を行っている所は重機が倒れてきたりして危険であること等を、パネルを見ながら学んだ。		
					
学習内容③：姫川の生態を学ぶ 自分たちの住んでいる川に生息する水生生物の名称や、特徴、地元での呼び方などを写真や、実際に採取した生物を見ながら学んだ。			学習内容④：姫川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ pH 6.5 ・ 透視度 50 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 10種 カワムツ、カワヨシノボリ、タモロコ、ドジョウ、メダカ、アカザ、サワガニ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、オニヤンマ、カワナ、ミズムシ、ヒル、ガガンボ 			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 河床がコンクリートになっており滑りやすいので注意を促すなど、転倒防止に努めた。 ・ 治水や利水の重要性を分かりやすい言葉で伝えることに苦労した。子供達は真剣な表情で聞いており、理解してくれたと思う。 ・ また親と川に遊びにくる等、積極的に川で遊ぶとする声があり、今回の総合学習の成果を感じた。 		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号(内線)	320	

支援学校名	多治見市立精華小学校	担当教員名	前田先生	対象学年・人数	5年生 143名
実施日	6月7日(木)		実施場所	大原川(宝町親水公園)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ 水生生物の捕まえ方のコツや、魚の生息箇所、大原川の危険箇所(水深が深くなる場所等)を実際に川に入り体験することで学んだ。			学習内容②：川の危険性について 近年、局地的かつ短時間に大量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が多発する傾向にあり、どんな川でも天候には十分注意する必要があることを学んだ。		
					
学習内容③：大原川の生態を学ぶ 大原川にはどんな生物がすんでいるのか、名前や特徴とともに学んだ。また川を大切にすることの重要性を学んだ。			学習内容④：大原川の水質を知る 大原川のpH、透視度、COD、生息する水生生物の種類から自分たちの身近な川である大原川がきれいなのか、汚いのかを学んだ。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・ 透視度 45 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 16種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、カマツカ、アブラハヤ、ナマズ、アカザ、ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、オナガサナエ、ヒゲナガカワトビケラ、ツチガエル、アメンボ			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 子供たちが水深の深い所や流速の速い所に行かないように誘導した。 ・ 気温が高く、日差しが強かった。そのため子供たちが熱中症にならないように、時間になったらすぐに川から上がるように呼びかけた。 ・ 子供たちは嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。		
備 考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号(内線)	320	

支援学校名	多治見市立精華小学校	担当教員名	前田先生	対象学年・人数	5年生 142名
実施日	10月16日(火)		実施場所	大原川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 大原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：大原川とのふれあい方を学ぶ 以前総合学習を行ったときと比べて、川の形状がどう変わっているか、生息している水生生物は以前と比べてどうか等を、実際に体験することで学んだ。			学習内容②：大原川の危険性について 流れが緩やかで安全そうに見える川であっても、雨が降ったりすると、急に流れが速くなり水位が上がるため注意する必要があることを学んだ。		
					
学習内容③：大原川の生態を学ぶ 実際に採取した水生生物を分類し、それぞれの特徴や数を知ること、自分達の身近な川である大原川にどのような生物がどれぐらいいるかを学んだ。			学習内容④：大原川の水質を知る 大原川のpH、COD、透視度の値と、住んでいる水生生物の種類の二つの観点から大原川がきれいなのか、汚いのかを学んだ。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ pH 7.5 ・ 透視度 92.5 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 15種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ニゴイ、カマツカ、アブラハヤ、ドジョウ、フナ類、アカザ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、スジエビ、コオニヤンマ、ギンヤンマ、ツチガエル 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 気温が低いため、服の着替えを促すなど子供達の体調管理に注意した。 ・ 自然を大切にすることも大事だが、それと同時に人の命や財産を守ることも大事であり、そのために工事は必要であるということ子供たちに分かりやすい言葉で説明した。 ・ 積極的に学習に参加する様子が見て取れ、川への関心を持ってくれたことを伺えた。 		
備考					
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号（内線）	320	

支援学校名	多治見市立滝呂小学校	担当教員名	伊藤先生	対象学年・人数	5年生110名
実施日	6月13日(水)		実施場所	笠原川(滝呂橋付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 笠原川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：笠原川とのふれあい方を学ぶ 水生生物はどんなところに生息しているのか、また、川の水質や形状、危険な箇所はどこなのか、実際に自らが体験することで学ぶ。			学習内容②：川の危険性について 近年、局地的かつ短時間に大量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が多発する傾向にあり、どんな川でも天候には十分注意する必要があることを学んだ。		
					
学習内容③：笠原川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。			学習内容④：笠原川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・ 透視度 72 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 20種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、ミナミヌマエビ、スジエビ、アメリカザリガニ、サワガニ、ヘビトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ、オニヤンマ、オナガサナエ、ヤマサナエ、ヒラタドロムシ、ヒゲナガカワトビケラ、ミズムシ、アメンボ、トノサマガエル			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 流速が早い箇所があり、子ども達が足をすくわれて転倒しないように気を配った。 ・ 子供たちにも、分かりやすい言葉で説明するのに苦労した質問形式にすることにより、治水について興味を持ってもらえたと思う。 ・ とても楽しそうに総合学習に取り組んでおり、川への興味を持ってもらえたと思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士 2名参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：加藤 知也	電話番号(内線)	319	

支援学校名	多治見市立市之倉小学校	担当教員名	富田先生	対象学年・人数	4年生52名
実施日	6月14日(木)		実施場所	市之倉川(市之倉小学校付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 市之倉川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：市之倉川とのふれあい方を学ぶ 水生生物はどんなところに生息しているのか、また、川の水質や形状、危険な箇所はどこなのか、実際に自らが体験することで学ぶ。			学習内容②：川の危険性について 近年、局地的かつ短時間に大量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が多発する傾向にあり、どんな川でも天候には十分注意する必要があることを学んだ。		
					
学習内容③：市之倉川の生態を学ぶ 採取した水生生物を種類ごとに分け、様々な生物の名称を知るとともに、身近な川に、どんな生き物がどれくらい生息しているかを学んだ。			学習内容④：市之倉川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。		
					
【学習結果】 ・ pH 7 ・ 透視度 40 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 10種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、ガガンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、ハグロトンボ			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 ・ 流速が早い箇所があり、子ども達が足をすくわれて転倒しないように気を配った。 ・ 川幅が狭いためタモを杖にして歩くように促した。 ・ 魚を捕まえたときの子供たちの笑顔が印象的だった。自然や川に対して興味を持ってもらえたと思う。		
備考	岐阜県自然工法管理士 1名参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号（内線）	320	

支援学校名	多治見市立共栄小学校	担当教員名	武藤先生	対象学年・人数	4年生68名
実施日	9月4日(火)		実施場所	高田川	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 高田川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：高田川とのふれあい方を学ぶ 水生生物の生息箇所、捕まえ方、河川の形状、河川の危険箇所等について、実際に河川に入って、自ら経験することで学んだ。			学習内容②：高田川の危険性について 近年、局地的かつ短時間に大量の雨が降る、いわゆるゲリラ豪雨が多発する傾向にあり、どんな川でも天候には十分注意する必要があることを学んだ。		
					
学習内容③：高田川の生態を学ぶ 採取した水生生物を分類し、それぞれの名称や特徴を学ぶことで、自分達の身近な川にどんな生物がどれぐらいの数いるのかを知った。			学習内容④：高田川の水質を知る 川で採取した水のpH、COD、透視度と高田川に生息している水生生物の種類から高田川がきれいなのか、汚いのかを判断した。		
					
【学習結果】 <ul style="list-style-type: none"> ・ pH 7.5 ・ 透視度 10 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 14種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、メダカ、ミナミヌマエビ、スジエビ、ウシガエル、ヘビトンボ、コオニヤンマ、コヤマトンボ、オニヤンマ、ガガンボ、ヒル、サカマキガイ 			【土木事務所担当者の所感（当事業の成果等）】 <ul style="list-style-type: none"> ・ 滑りやすい箇所があり、子供たちが怪我をしないように気を配った。 ・ 私たちの行っている工事は、人の命や財産を守るために必要であることを、写真を示すなどして子供たちに分かりやすいように説明した。 ・ 子供たちは嬉々として総合学習に取り組んでおり、川に対する好奇心を抱いてもらえたと思う。 		
備考	岐阜県自然工法管理士 1人参加				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号（内線）	320	

支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	新海先生	対象学年・人数	5年生70名
実施日	7月4日(水)		実施場所	万尺川(瑞浪中央公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 万尺川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：万尺川とのふれあい方を学ぶ 水生生物がいる場所や魚を捕まえるコツ、川の形状や水質、どんな場所が危険なのかを実際に川に入ることによって学んだ。			学習内容②：川の危険性について 近年の豪雨により、被災した箇所の写真を見ることで、護岸や堤防の重要性を学んだ。		
					
学習内容③：万尺川の生態を学ぶ 万尺川にはどんな魚がいるのかを、採取した魚を種類ごとに分け、その名前と特徴について学んだ。			学習内容④：万尺川の水質を知る 川で採水した水のpH、透視度、CODを調べ結果発表した。水質の結果と、生息していた水生生物の種類との両方から、川がどの程度きれいなのか考えた。		
					
【学習結果】 ・ pH 7.5 ・ 透視度 37.5 ・ COD 7 ・ 採取した水生生物 9種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、フナ類、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、ウシガエル			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 川幅が狭く、足場が悪い所があったため、子供たちがけがをしないように気を配った。 ・ 川の楽しさと同時に、恐ろしさを学び、治水の大切さを理解してくれたと思う。 ・ 子供達は懸命に総合学習に取り組んでおり、川に対する興味を持ってくれたと思う。		
備考	7月5日(木)毎日新聞(岐阜版)にて記事が掲載された。【巻末資料62頁掲載】 7月6日(金)中日新聞(東濃版)にて記事が掲載された。【巻末資料62頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：塚田 正俊	電話番号(内線)	320	

支援学校名	瑞浪市立瑞浪小学校	担当教員名	新海先生	対象学年・人数	5年生80名
実施日	7月10日(火)		実施場所	万尺川(瑞浪中央公園付近)	
テーマ	「河川環境を学ぶ」 万尺川の現状や川とのふれあい方を学ぶ。		分類	治水・環境・砂防・防災	
			連携機関	多治見市土岐川観察館	
学習内容①：万尺川とのふれあい方を学ぶ 水生生物を上手に捕獲するために、タモの使い方や、水生生物の多く存在する場所等を学んだ。また怪我をしたり、風邪をひかないように川での注意点を学んだ。			学習内容②：川の危険性について 川は普段は楽しい場所だが、雨が降ったりすると急に水位が上がり流れが速くなるので危険であるため、雨の時は川に近付かないようにすることを学んだ。		
					
学習内容③：万尺川の生態を学ぶ 捕獲した水生生物の特徴を知り、自分たちの身近な川にどのような生物が、どれくらい住んでいるのかを学んだ。			学習内容④：万尺川の水質を知る 万尺川の水のPH、COD、透視度と、万尺川に生息している生物の種類の二つの観点から、万尺川の水がきれいなのか汚いのかを調べる。		
					
【学習結果】 ・ pH 8.5 ・ 透視度 27 ・ COD 10 ・ 採取した水生生物 13種 オイカワ、カワムツ、カワヨシノボリ、ドジョウ、ブルーギル、ミナミヌマエビ、アメリカザリガニ、コオニヤンマ、ハグロトンボ、サナエ類、ウシガエル、トノサマガエル、ヒル			【土木事務所担当者の所感(当事業の成果等)】 ・ 川幅が狭く足場も悪いため、子供たちが怪我をしないように注意した。 ・ 私たちの行っている工事は、確かに自然を破壊するかもしれないが、人の命や財産を守る上で欠かせないことであることを伝えた。子供達は真剣に聞いており工事の重要性を理解してくれたと思う。 ・ 楽しそうに学習に参加する子供たちを見ることができた。川への興味を持ってくれたように思う。		
備考	7月14日(土)岐阜新聞(東濃版)にて記事が掲載された。【巻末資料63頁掲載】				
記入者	所属：河川砂防係	氏名：遠藤 栄亮	電話番号(内線)	320	